

## 第580回 新潟放送番組審議会 議事録

### - 議 題

「BSN 水曜見ナイト～新潟の田舎に泊まりたい～」



平成 24 年 9 月 19 日

**BSN**新潟放送

## 第580回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 平成24年9月19日(水)午前11:00~

2. 開催場所 BSN本社 6F会議室

### 3. 委員の出席

委員側出席者(敬称略・順不同)

委員長	松川公敏	副委員長	相羽利子
委員	古賀豊	委員	正道かほる
委員	小島良子	委員	行形貴子

(書面)

委員側欠席者(敬称略・順不同)

委員	高井盛雄	委員	渡辺隆
委員	佐々木広介	委員	齋藤俊太郎

新潟放送側出席者

社長	竹石松次	常務	熊倉雄三
編成局長	野島常雄	報道制作局長	梅津雅之
営業局長	島田好久	ラジオセンター長	
			小原弘志

番組説明員 報道制作局情報センター

ディレクター 高橋紘子

事務局

社長室長	佐藤隆夫(事務局長)
考査広報部長	野上信子(事務局員)

### 4. 議題

#### 1. 報告事項

10月の新番組・単発番組について(各局長)

#### 2. 審議事項

テレビ番組「BSN水曜見ナイト

~新潟の田舎に泊まりたい~」

放送日時 8月29日(水) 午後7時~7時55分

## 5. 議事の概要

～番組審議委員の主な意見・質問～

夏の終わり、ひと夏の新潟の暮らし、人々の暮らしをふり返える番組。

佐渡・津南で登場したご主人は、味があって楽しく気持ちよく見ることができた。

地域社会に密接、安全な手作りの食べ物、自然との共存等、田舎に住む方々の生活がとても素晴らしと感じた。また、出演されていた方たちの作る喜び、生まれ育った土地を愛する心も伝わってきた。

タイトルを見てTV東京の「田舎に泊まろう」を連想したが、アポなし訪問ではなく佐渡は民宿で津南は民泊であった。

佐渡はエコツアーはじめ興味が湧いて自分も行ってみたいと思った。

金剛杉や発酵飲料など関集落の宝をもっと詳しく紹介して欲しかった。

津南は、新海アナが農家の島田さん一家になじんで様々な体験をした。

涙のラストシーンは「田舎に泊まろう」そのもの。

しかし、佐渡と津南で扱い方が違い、番組の主人公は誰なのか何を伝えたかったのかわかりにくく一貫性がなかった。

佐渡も津南も初めてみる場所が多かった。まだまだ県内で知らない場所や宝があることを実感した。この番組を大事に育てて、県内にあるいろいろな財産に光をあて新潟の良さが再発見できるよう、また地域活性化の一翼を担ってほしい。

それがテレビの大事な役割だ。

伊勢アナの「まちかど行ってみずほ」の人情横丁は何回も取材を重ねていて丁寧な作り方をしている良かった。

～担当ディレクターの説明～

これまでグルメを扱った内容が多かったが、今回は豊かな自然の中で農業や漁業を営みながらそこに暮らす方々の日常生活を伝えたかった。

私が担当した津南の島田さん一家で主人公にしたかったのは島田さんのご主人で、頑張っている姿や農業に誇りをもっていらっしゃるところを描きたかった。

～梅津常務の説明～

新潟の田舎暮らしを体験する場所として、海の田舎で一番遠いところはどこか調べた結果、佐渡・外海府の関集落であった。民宿「かわぐち」に伊勢アナが一泊した。

ご主人は地域おこしで頑張っているから、いろいろな場所を紹介して下さった。時間的な制約もあり民宿的な情報が少なかったのは反省点。

「まちかど行ってみずほ」の人情横丁は4回目の取材。今後も定点観察をして地域活性化に繋がるよう継続取材をしたい。